

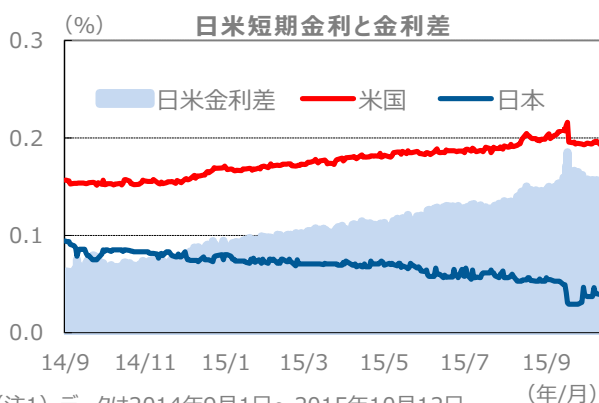
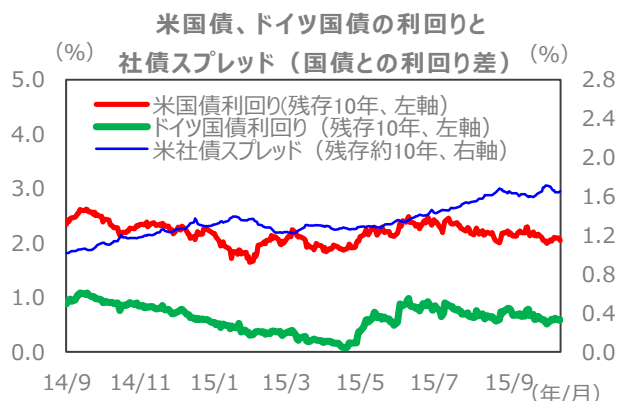
## 今日のトピック 米国の債券市場（2015年10月） 利上げ先送りで国債利回りは安定した推移

### ポイント1 9月の国債利回りは低下 利上げ見送りを好感

- 9月前半の米国10年債は、連邦公開市場委員会（FOMC）を前に利上げへの警戒などから売られ、利回りは一時2.3%近くまで上昇しました。
- しかし、16日～17日のFOMCで利上げが見送られたことにより、月末にかけて買い戻しの動きが強まりました。月末の利回りは2.04%（前月末比0.18%ポイント低下）でした。

### ポイント2 社債スプレッドは小幅縮小 日米短期金利差は縮小

- 米社債スプレッド（国債との利回り格差）は、小幅に縮小しました。FOMCで利上げが見送られたことから、リスク回避の動きが後退し、社債利回りが国債利回り以上に低下したためです。
- 短期金利の動きをロンドン銀行間取引金利（LIBOR）で見ると、日米金利差は9月中旬まで拡大しましたが、FOMC以降は米国の金利が急速に低下したため、前月との比較では縮小となりました。



### 今後の展開 利上げ先送りにより国債利回りは安定した推移へ

- 9月のISM製造業景況感指数は、好不況の分岐点となる50近辺にとどまりました。同月の雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月比14.2万人の増加となり、市場の事前予想を下回りました。
- これらを受け、年内利上げの見通しは大きく後退しました。仮に利上げが開始されても、物価の安定等から、そのペースは緩やかなものになる可能性が高く、国債利回りは安定した推移が予想されます。

ここも  
チェック! 2015年10月 6日 FOMCメンバーの政策金利予想（米国）  
2015年10月 5日 米国の雇用統計（2015年9月）

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。